



さくくら RA



Mar..2016

発行/ボーイスカウト世田谷第5団広報部

2月21日 団行事 BP祭 ビーバー隊

ビーバー隊

隊長 保科潔

2月21日(日)ビーバー隊は、深沢区民センターにて行われたBP祭に参加しました。点灯式で誓いを新にしました。花俣団委員長より、火事場のバカ力と言う興味深いお話しが有りました。その後ビーバー隊が全体ゲームを担当しました。

BP祭全体ゲーム

ゲーム①

全体を3つに分ける(ビーチボールが3ヶ有り)3列の前から後ろにビーチボールを頭の上から運ぶ ボールを取ったら後ろの人はボールを持って前に並びこの動きを繰り返す 最後のアンカーがボールをゴールにタッチして 五郎丸ポーズをして終了。

ゲーム②

3列に分けた後 ビーチボールを二人で お腹にはさんで運ぶ 手を使ったら ペナルティです リーダーが3人 柱になり そのまわりを回ってリレーする。(ビーチボールがバトンの代わり)

BP祭終了後にビーバー隊は、会議室でビーチボールドッチボールをしました。近所の公園でお菓子を食べて歩いて等々力駅玉川総合支所まで帰りました。



カブ隊 BP祭&スケート

C S隊副長 三園真也

旧「神奈川スケートリンク」が全面リニューアルに伴い名称が「横浜銀行アイスアリーナ」になりました。市の保有施設に企業の名前を付ける代わりに運営を補助する流行りのネーミングライツというヤツですね。しかし、そのリニューアルにより地獄を味わう事になるとは・・・

施設のリニューアルだけではなくレンタルスケート靴も全て新品になっていたのです。

見た目はピカピカと眩しく期待に胸踊らせ履いてみます。まず、26cmを借りたのですが少し緩い。しかしサイズ設定が1cm刻みの為、下は25cm。ややキツメながらフィット感は悪くない。しかし、ここからが地獄。

フィット感という名の締め付けが私の足の骨を容赦なく痛めつけて来るのです。

踏み込む度に骨がギシギシ押し潰される感じ。ほぼ拷問。

もう、滑りながらスカウト達の様子を見る余裕なんてありません。

問題はスケート靴の素材の硬さです。スニーカーの様なフリして履き心地はもはや木製靴。

硬いっつーの！！



1組 DL 本間 千香

今年は深沢区民センターでBP祭を行いました。DLになってから今回場所が変わった為にまた、違ったBP祭でした。

BVS.CSと集まりがよかったのですがBS以上の方々が少なかったようで少し寂しかったですね。恒例のゲームはスカウト全員での参加のためBSの方もCS.BVSと共に盛り上げてくれたのでスカウトはとても楽しかったと思います。もっとこのような集まりがあればいいな～なんて個人的に思いましたね。

午後からの活動はこれまた恒例のアイススケートです。この日の活動はほぼ全員参加なぐらいの出席率でスカウトはこの活動を楽しみにしているんだな～と改めて感じました。私は2回目の参加で今年は反町にあるリンクで 去年は新横のリンクでした。スカウトたちは来たことのあるリンクとあって あっ！キレイになってる！とか色が変わったとか いろいろな発見をしていました。毎回思うのですが 子供達のスケートの上達の早さは凄いです。逆に私は昨年より怖さが勝ってしまい ケガをしないようにと思うばかりでした。

数名のドキドキのスケートだったスカウトも帰るころにはリンクの真ん中で滑っていたので自信がついたのかなと思います。また、ご家族でも 残り少ない期間ですがリンクにいてもらいたいですね！

リーダー含め スカウトも楽しみにしている 1つの活動なんだな～と思った1日でした。



3組 しか [REDACTED]

2回目のスケートです、とても楽しみにしていました。1年ぶりなので上手く滑れるか心配でした。ところがぼくも他のスカウトも鬼ごっこができるくらいうまく、しかもぼくは最後まで逃げ切れたし、鬼の時は短時間で3人もつかまえることができました。すべりかたを忘れていなくて良かったです。スケートのあと、キツネのしっぽ取りができて楽しかったです。



ビーバー隊 2月7日 隊集会 イタリア料理に挑戦！

ビーバー隊

隊長 保科潔

2月7日(日) ビーバー隊は、野毛町公園デイキャンプ場でイタリア料理の定番、簡単ピザと簡単ミネストローネに挑戦しました。寒い朝でしたので、サッカーをして体を暖め火を起こしウインナーをあぶって食べました。簡単ピザは餃子の皮にトマトケチャップをスプーンで塗り、ハムと玉ねぎとコーン、ピザ用チーズを乗せて鉄板でアルミホイルをかけて焼きました。簡単ミネストローネは、フリーズドライのトマトスープと玉ねぎ、スパゲッティーで作りました。スカウトに簡単ピザが大好評でした。終わりの会の時、口の周りにケチャップをつけたスカウトが多数いました。心と体が暖まりました。



カブ隊

2月7日 湾岸ハイク 15.3km

C S隊副長 清水恵子

毎年恒例の長ハイク、今年は近くにあるのに意外と知らないところ、大田区城南島をめざしました。

大森駅から東に向かって歩き、平和島競艇、大田スタジアム、東京港野鳥公園の前を進んでいきます。

途中、モノレールを下から見上げたり、長〜い貨物列車が地下へもぐっていくのを眺めたり。

羽田空港から飛び立つ飛行機の機影と音が大きくなってきます。

さらに歩いて城南島の端、海に面した城南島海浜公園で昼食です。

2月とは思えぬぽかぽか陽気、工事で波打ち際に出られなかったのは残念ですが、スカウトはおにごっこにゲームに走り回って遊びました。(そんなに走って後にさしかえないのはうらやましい) ポケモンジェットやジャンボまで見られて大満足(私だけ?)、さて午後は大田市場の前を通過して京浜島、さらに昭和島と歩いて陸(?)へ。

旧呑川を埋め立てた緑道、呑川沿い(こちらは普通の川)を歩いて蒲田駅に到着しました。

大森駅から15.3km、一人も脱落することなく歩くことができました。

スカウトは、自分の足だけで遠くに行かれるんだと感じてくれたことでしょう。



1組 うさぎ

今日は、海沿いを15.3km歩いてとても気持ちよかったです。なぜなら、飛行機が離陸するところを見られたからです。真っ正面に飛んできて、迫力がありません。

僕は初めて組長代理をやったので、緊張しました。でも、たくさん歩けたので、楽しかったです。また来年も行きたいと思いました。



2組 しか

今回のハイクは、15.3kmという今までで一番長い距離だったので、始めから心配していました。

一回目の休憩は余裕という感じで、二回目は少し疲れたかなという感じでした。

三回目になると結構疲れたという感じになり、四回目ではかなり疲れていました。

ゴールにたどり着きたときは疲れていましたが、そんなには疲れていないような気もしました。

結構自信が持てたのでよかったです。



1月31日 月の輪集会

月の輪リーダー 神田雅代

今年から教育課程が変更になり、くまスカウトの最後の3ヶ月は「月の輪」といって、ボーイ隊に上進する下準備をするようになりました。

そこで、月の輪となったくまスカウト達は、ボーイ隊に潜入したというわけで、その記念すべき1回目の活動がありました。

多摩川河川敷で儀礼の練習(二本指から三本指の練習)など、ボーイの面々と一緒に勉強しました。教えてくれるのは、菊スカウトになった磯田班長(中3)です。形を覚えたり練習やらでちよっと疲れたので気分転換に「キツネのシippo」。カブでもやってるしと思ったら大違い…ガチで勝負をつける!最後は残ったもの同士で対一の勝負。決闘さながらでした。全員必死で遊ぶのはほんとうに楽しい。

昼には桜の木の根元でお弁当を広げて食べていると、さりげなく班長が様子を見に来てくれます。

午後は室内に会場を移してボーイスカウトの誓いとおきてを覚えてもらい、具体的にはどんな風にするのかボーイのお兄さん達と一緒に考えたりしました。

おきてのキーワードを使ってチームに分かれて即興でスタンツをやったりもしました。面白いポーズに大笑い。

それから、おなじみの日本の国旗を書いてみるという貴重な体験もしました。黄金比率の見事な国旗だと改めて実感しました。

最後はスカウト章のマークの福笑いをやりました。スカウトのシンボルマークにはひとつひとつ意味があるのを磯田君が絵に書いて指導してくれました。たとえばゆりの花は「愛情」を表すそうです。

神妙にその話を聞いた後に、神田作成の特製スカウト章パズルを使って福笑い!変な形に出来上がったりと大笑いしながらも、スカウト章の意味や、誓いの意味がなんとなくわかって身近に感じれたはず。

お兄さん達に暖かく迎えられて、ボーイ隊の楽しさが感じられたようで、参加した五人は全員上進を誓っていました。

1組 くま [REDACTED]

ぼくは、『BS(ボーイスカウト)』から沢山の事を教えてもらいました。

カブとは違って一段とむずかしく、一段と楽しいように感じました。月の輪の班長として誇りを持って『BS』隊に入りたいです。

『BS』達のように、協力して「きく賞を持ったBS(磯田さん)」のように『Janboree』に出たいです。

2組 くま [REDACTED]

僕は今回、BS隊と一緒に活動をして、BS隊の先輩はほぼ全て自分たちで考えて行っていてすごいなあ。と思いました。僕もBS隊に上進したら、今回みたいに自分たちで行動できるBS隊の人になりたいです。



2月14日 月の輪CPハイク

1組 くま [REDACTED]

ボーイに追いつかないと思ったけど、まあ、なんとか追いつけた。歩測ではぴったり合わせることができたので、よかったです。これによって一位になれると思ったけど、証拠の得点で負けてしまったので残念ながら二位になってしまった。今度の月の輪は一位になりたいです。

4組 くま [REDACTED]

雨でちょっとぬれたりしたけど、最後に優勝してチョコレートをもらったので、よかったです。この経験を活かして、カブの活動でもがんばりたいとおもいます。地図が読めなかった時に、BSのお兄さんが地図の読み方を教えてくれて、たずかりました。ぼくは地図が苦手なので、BSになる前までには、おぼえておきたいです。



BS隊

2月14日

月の輪ハイク

BS隊副長 渡口 要

大荒れでした。

暴風雨の中、歩測やロープなどのミッションをクリアしながらのハイキング。距離自体は10キロ弱と短かったものの、上進予定のくまスカウトは面食らったかもしれません。しかし、参加スカウトは班長を中心に皆頑張っていました。班長が快活に行動していれば、下のスカウトも元気になるものです。正午前には太陽が出て気持ちよく解散できました。

家族でハイキング(ピクニック)をするとき、今回のような天候なら中止するのが普通でしょう。なぜ、ボーイスカウトではこんな天気でもプログラムを実行するのでしょうか？

理由の1つは、単なるレジャーとは違ってボーイスカウト活動は訓練の側面を持っていることです。雨風の中でも行動せざるを得ない場面は、生きていればそれなりにあります。キャンプ中や山登りの下山時のようなアウトドアな状況はもちろんです。学校や会社での行事や仕事においても「雨宿りしてられない」ことは珍しくないでしょう。苦しい経験は、未来の訓練に対する余裕を我々に用意してくれます。

理由の2つめは、こちらの理由の方が大事だと私は思うのですが、大雨強風の中でのハイキングという非日常的経験が我々の連帯(仲間意識)を強化することです。私や私の仲間がボーイ隊のスカウトだったころを想いかえすとき、いつも雨の話をしします。

「大雨でテントの真下に川が出来た」
「キャンプ中に雨が降り続いて夜中の3時に避難した」
「自転車で登山していたら突然の夕立でびしょ濡れになった」

などなど、当時苦しかったはずの思い出を皆嬉しそうに話すのです。1年前、2015年のさくら4月号で書いた言葉を再び使えば、雨風はパルタージュの経験の強度を強めるのです。

こういうわけで、強い雨や風の経験は、未来の訓練に向けた備えになるとともに、過去の思い出のスパイスになります。過去から未来、そして未来から過去、二重の意味で、我々の人生を豊かにしてくれるのです。これは単なる抽象的な空論ではありません。ボーイスカウト活動を20年以上続けてきた私の実感です。

ところで、今回のハイキングでは、多摩川で歩測を行いました(雨避けの無い多摩川で歩測ミッションを担当してくれた日笠副長に感謝です)。直線距離を直接歩いて測るといった基本を練習しましたが、もっと複雑なテクニックもあります。歩数と歩幅をかけて歩いた距離を求めるのが歩測ですが、これと算数の図形の知識を組み合わせると、川幅など直接歩いて測れない距離を求めることが出来るのです。

たとえば三角法というやり方が、ボーイ隊の「教科書」である『スカウトハンドブック』の135ページに載っています。また、これは『スカウトハンドブック』

にも載っていませんが、高校で習う三角関数という数学のテクニックを使うと三角測量が出来ます。さらに、大学レベルの数学を使った球面三角法というのもあって、地球が丸いことを考慮した測量が出来ます。

そんな歩測と算数・数学による測量の達人が江戸時代にいました。伊能忠敬(いのうただたか)。17年かけて日本の海岸を歩き、歴史上初めて日本の正確な地図(海岸線の形)を明らかにした偉人です。雨の日も風の日も、様々な工夫を凝らして測量を続けた伊能忠敬が第1回目の測量の旅に出発したのは、今から216年前の西暦1800年、なんと55歳のときです。

伊能忠敬は17年にわたる測量の記録を『伊能忠敬測量日記』として残しています。今回のハイキングの翌日2月15日、研究者らで作る伊能忠敬研究会がこの日記を元に、測量隊に協力した1万2000人の人名をホームページ上で公開したというニュースがありました。ホームページ

<http://www.inopedia.tokyo/database/>

にアクセスすると、現在の市町村別に当時の協力者の人名を検索できます。伊能忠敬没後200年にあたる2018年に、子孫の人たちに感謝状を贈呈したいそうです。

研究会の渡辺一郎名誉代表は「日記をみると測量隊の行く先々では、郷土の名誉をかけて支援しているのがわかる。先祖が江戸の国家事業に参画したという誇りを持っていただきたい」と話しています。伊能忠敬の測量はすでに思い出というよりも歴史ですが、1万2000人のパルタージュを200年の時を超えてこうして再生させる試みに、雨の多摩川での歩測と同じ役割を見ました(やや強引な連想かもしれませんが)。

ちなみに、伊能忠敬は50歳のとき19歳年下の高橋至時(たかはしよしとき)に弟子入りして、天体観測や測量、暦学を学んでいます。これらの学問の背後には、江戸時代の数学・算数(和算と言います)の水準の高さがあります。高橋至時の次男は渋川家の養子となった渋川景佑(しぶかわかげすけ)。江戸幕府によって設置された天体観測および暦学の研究機関である天文方を渋川家は代々勤めており、その初代当主は渋川春海(しぶかわはるみ)。沖方丁のベストセラー時代小説『天地明察』の主人公です(この小説は滝田洋二郎監督、V6岡田准一主演で映画化もされています)。『天地明察』の中では、天体観測や暦学や測量と和算をめぐる物語が描かれています。本を読んだ人なら、渋川春海ら測量隊のメンバーが1日中歩数を数えながら旅する場面を思い出せるでしょう。歩測と和算を組み合わせると目的地の緯度を予測し、目的地での天体観測で得た緯度の値と比較して答え合わせをするエピソードはとても感動的です。

『天地明察』とはよくできたタイトルで、「天」は宇宙や宇宙を知るための天体観測(天文学)を、「地」は地球や地球を知るための測量を意味しています。そして「明察」は真相や事態をはっきりと見抜くという意味ですが、この本の中では和算の問題の正解に対して与えられる言葉で、要はテストの花マルのようなものだと思います。天の謎と地の謎を和算(算数・数学)が結び付け解き明かすことを意味しています。実際、例えば先に述べた球面三角法は「弧矢割円術」

という名前で天文学・暦学の計算にも使われています。天と地が同じ方法で解き明かせるという意味では、アイザック・ニュートンが万有引力の法則と運動方程式を組み合わせて天(宇宙)と地(地上)が同じ法則に従っていることを示したのとシンクロしています。リンゴが木から落ちること、月が地球の周りをまわっていることは、同じ物理法則と数学で説明されることを示したのがニュートンでした。それ以前には、天と地、宇宙と地球は異なる法則が支配する全く別の世界だと考えられていたのです。アイザック・ニュートンは1642年生まれ、渋川春海は1639年生まれです。

伊能忠敬55歳の旅一番の目的も、実は測量と地図作製ではなく、遠く離れた2地点の距離と緯度を測量と天体観測により求め、その値から「地球の大きさを求める」ことにありました。これが伊能忠敬の夢だったのです。「地球の大きさを求める」方法の基本的なアイデアは、2200年以上前(!)のギリシア人学者エラトステネスが最初に考えました。小学校で学ぶ算数だけで理解できますので是非調べてみてください。やや高度な測量や天体観測、伊能忠敬や渋川春海の話は、雨があまりに強くてハイキングを中止にしたとき雨プロでやろうと思っていたことです。また、今回はやりませんでした。天体観測もボーイ隊の重要な課目です(『スカウトハンドブック』の112ページや286ページを読んでみてください)。こういった理系(科学)な話とボーイスカウトは一見関係無いように見えますが、例えば「観察」というキーワードにおいて似たところがあると思います。

最近広告で知ったのですが、1959年以降のNASAの宇宙飛行士312人中207人、アポロ計画に参加した宇宙飛行士24人中20人、そして月面を歩いた宇宙飛行士12人中11人がボーイスカウト経験者だそうです。リドリー・スコット監督、マット・デイモン主演で現在公開中の映画『オデッセイ』を観ると、これらの関連性が良く分かると思います(火星でサバイバルする宇宙飛行士の話です。火星に雨は降りませんが、砂嵐はあります)。NASAの様々なメンバーが同じミッションをこなしていくことで生まれた連帯や仲間意識が、いかにして素晴らしいチームワークに結実するかが描かれています。

またどこかの機会に、例えば三鷹の国立天文台での天体観測プログラムのときなどに、こういった理系な話をできたらなと思います。

BS隊トナカイ班

今回のカブとボーイとの団体ハイキングでは雨が激しく降り、風も強く、厳しい状況でしたが、リーダーに与えられたミッションを最後までトナカイ班のみんなと協力し成し遂げ、無事みんな帰還出来たので良かったです。僕は、3つ目の歩測で30メートルを測るミッションで、ちょうど30メートルだったのでその時はとてもビックリしました。

優勝はできなかったけれど、カブスカウトと一緒にこう言う時間を過ごせて良かったです。



会議報告



- 団会議・団委員会 2月6日(土) 18:00~ 尾山台地区会館第1会議室
 - ★ 入団説明会 3/13 13:30~14:30(15:00)
会場: 玉堤地区会館(大会議室)
説明会終了後、多摩川河川敷に移動してBVS~BS隊の活動を見学
(雨天時は見学体験は中止、キャンポリーの動画等の上映)
 - ★ 地区キャンポリー 8月20日~22日 群馬県川場村(中野ビレッジ)
BVS隊(S6名 L10名)、BS隊(S10名 L5名) 参加仮申込
 - ★ 16年度団行事
 - 4/3 上進式(&会計監査) 奥沢区民センター
 - 9/11 カントリーデー
 - 10月 尾山台フェスティバル
 - 2017 1月 バザー
 - 2/26 BP祭
 - 3/12 入団説明会
- 育成会役員会 2月12日(金) 10:00~12:00 玉川総合支所印刷室
入団説明会チラシの印刷と近隣幼稚園、保育園、小学校への配布



会議予定



- 3月12日(土) 団会議・団委員会 奥沢地区会館第3会議室 19:00~
 - 来年度団補助決定
 - 来年度各隊行事予定を提出
 - なお、16年度各隊予算は上進式(4/3)時に提出
- 3月13日「入団説明会」玉堤地区会館大会議室 13:30~14:30(15:00)